訓練 弟子たち 修行

セッション 24:弟子制度は関係性(10日)

ロン・ライブリー M.Div., M.A. による提供 – BiblicalMentoring.org(研究)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人がその記憶の節を引用します: ヴァース: 使徒言行録**20**章**24**節
24 しかし私は自分の命を価値あるものとせず、自分にとってもそれほど貴重とは考えていない。
もし私が主イエスから受けた修道と奉仕を終えることができれば、
神の恵みの福音を証しするために。

ステップ3: *聖書の章の全部または一部を読み、議論してください* - 使徒行伝**20**章
リンク: https://www.biblegateway.com/passage/?search=Acts%2020&version=ESV

ステップ4: 個人応募やグループディスカッションに関する質問:

一. この「動機づけ」についての議論は、弟子を動機づける四つの方法に分かれています。

二. **演出**:自分の人生の方向性を追求するあなた自身の決意が、他者を動機づけるでしょう。

三. **ビジョン**弟子訓練を通じて神の御国を前進させるための明確なビジョンを持つことは不可欠です。しかし、そのビジョンを共有して、あなたの研修生が自分のビジョンを発展させましょう。

四. **自信**:弟子がキリスト・イエスへの真の自信を見つけられるよう助けてください。

五. **緊急性**フィリップスは「他者への思いやりとキリストの差し迫った再臨の知識は緊急性を要求する」と書いています。キリストがいつ再臨されるかはわかりません。

ステップ5: *本書の内容を読み、議論してください:*
著者による第10章d(キース・フィリップス):

動機
モチベーションとは、私たちを目的に向かって動かす、その衝動的な欲求です。モチベーションは、弟子を神の人となり、効果的かつ喜びに仕えるよう促します。最近のスタッフリトリートで弟子訓練のセッションをリードするよう依頼されたとき、同僚を退屈させてしまうのが怖くて躊躇しました。私は弟子訓練を生き、呼吸し、それを食っているので、スタッフ全員が同じように自己動機づけを持っていると思っていました。しかし、彼らに異議を唱えたとき、その反応に驚きました。次々と、彼にはその新たな動機が必要だったと話してくれました。聖書の授業を教えたり、緊急事態に対応したり、その他数え切れないほどのミニストリー活動に没頭しすぎて、目標を見失ってしまった人もいました。彼らは、一見平凡に見える責任が弟子訓練にとっていかに重要であるかをイメージする助けを必要としていました。フルタイムの宣教師でさえ、ルーティンの圧制に視界がぼやけてしまうことがあります。私たちは皆、目標に向かって前進するための頻繁なモチベーションが必要です。

弟子を動機づけるための4つの方法を提案しましょう。

1. 方向性。
弟子を導くためには、自分の人生に方向性が必要です。パウロはこう宣言しました。「しかし、私の命は私にとって何の価値もない。ただ、主イエスが私に与えてくださった任務を完遂できたなら……」(使徒言行録20章24節 NIV)キリストの弟子たちは、人間の罪のために死ぬ決意をもって、キリストがエルサレムへ向かうのを見

守りました(ルカ9:51)。もしあなたが御言葉の知識を深め、日々の意思決定にそれを一貫して適用しているなら、弟子も同じように行動する動機を得るでしょう。

2. ビジョン。

定期的に弟子としての弟子としてのビジョンを強化してください。キリストは弟子でした。そして人々は彼のプログラムでした。弟子は「キリストに住むと言う者は、自分が歩んだのと同じように歩むべきである」(ヨハネ第一2章6節)と確信しなければなりません。パウロによるテサロニケの人への訓練が、マケドニアやアカイアだけでなく、彼らが訪れたすべての場所で効果的な働きを果たしたことを弟子に示してください(テサロニケへの第一の手紙1章7節、8節)。弟子に、他者への時間とエネルギーの高価な投資が豊かで永続的な実を結ぶことを思い出させてください。賢い人はいない一人の人の爆発的な可能性を無視しません。私たちは皆アダムを通して罪の中で生まれましたが、キリストを通して新しい命を得る可能性を持っています(コリント人への第一の手紙15章22節)。弟子が弟子を作るという目標に目を向けさせられるよう助けてください。「幻視がなければ、民は滅びる…」(箴言29章18節 KJV)

3. 自信.自信のある人は、不変で一貫した神の中に安らぎ、圧力に屈しない安定しています。弟子がキリストへの信頼を見つけられるよう助けてください。使徒たちがてんかんの少年を癒せなかったとき、肉体への信頼は打ち砕かれ、キリストに立ち向かいました(マルコ9章)。弟子が自分の不十分さを自覚できる状況から守ってはいけません。彼に神を信頼させる責任を与えてください。神が自分の信仰を敬うのを見守る中で、彼の自信は成長します。弟子が生けるキリストの臨在と働きを自覚しているなら、キリスト教的な成熟と働きは避けられません。病人を癒し、水の上を歩き、死者をよみがえらせ、そして死を征服したイエスは、彼を信じる者はさらに偉大な業を行うと約束しました(ヨハネ14:12)。イエスと共に歩む者ほど自信を持つ者はいません。

4. 緊急性。

弟子の和解の働きは、神の賜物を拒絶することが永遠の呪いをもたらすと認識したときに緊急性を帯びます。イエスは警告します。「私を遣わされた方の働きを、昼である限り必ず行わなければならない。夜が来るとき、誰も働けない」(ヨハネ9:4)。他者への思いやりとキリストの間近な再臨の知識は緊急性を求めます。しかし、その切迫感があまりにも強くなれば、弟子は落胆し、やるべきことがあまりにも早く、自分の貢献は取るに足らないと感じてしまうでしょう。人々は絶え間ない圧力の下で機能できません。イエスは弟子たちに、いつおられるかのように振る舞うよう懇願しつつ、世代にわたって教会を築く計画を立てるよう促すことで、繊細なバランスを保ちました。彼の差し迫った再臨が生み出す緊急性は、弟子たちの怠惰や先延ばしを防ぎ、弟子訓練を通じて教会を築き上げました。あなたもまた、弟子が行動する動機を持たせるバランスの取れた切迫感を植え付け、彼を無行動に苛立たせることなくしなければなりません。強い関係は、成功した弟子訓練と切り離せません。それは弟子の霊的健康について必要な理解を与え、彼を繁殖へ導くための場を提供します。それは彼にあなたの意見を受け入れる安心感と行動する動機を与えます。そしてそれは、彼が将来的に他者を導くための実践的な訓練でもあります。キリスト教の弟子訓練は関係性に基づくものです。

弟子のチェックリスト – 弟子になることは関係性のものだ
私と弟子の関係は以下に特徴づけられています:
___Warmth — 愛と優しさの態度。
___Loyalty——一貫したコミットメント。
___Fairness——偏りのない存在であること。

___Maturity – 神と共に、揺るぎなく、忠実に歩みなさい。
___Availability – 最大限のアクセス。
___Patience – 行動への信念。
___Honesty – オープンなコミュニケーション。
___Motivation——私たちを目的へと導く、強い欲求。

pp. 113-116

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれが相手の願いのために祈ります。*

出典:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から改訂なしで引用しています。

改訂20261123